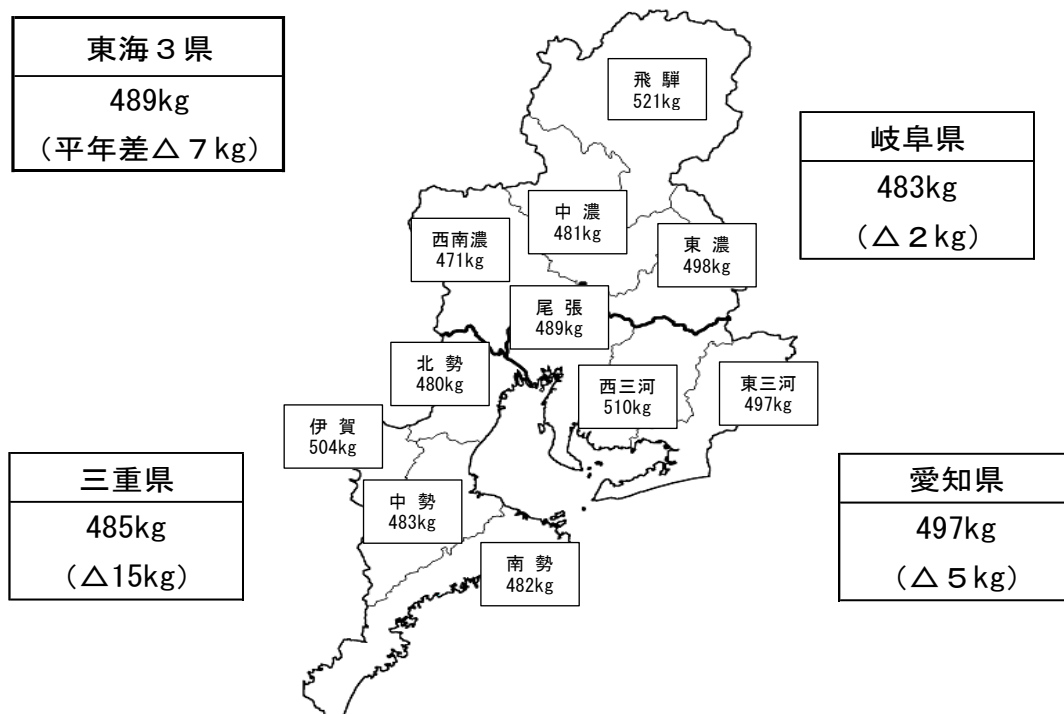


作物統計調査 令和6年産水稻の収穫量 — 10a 当たり収量は489kg —

【調査結果の概要】

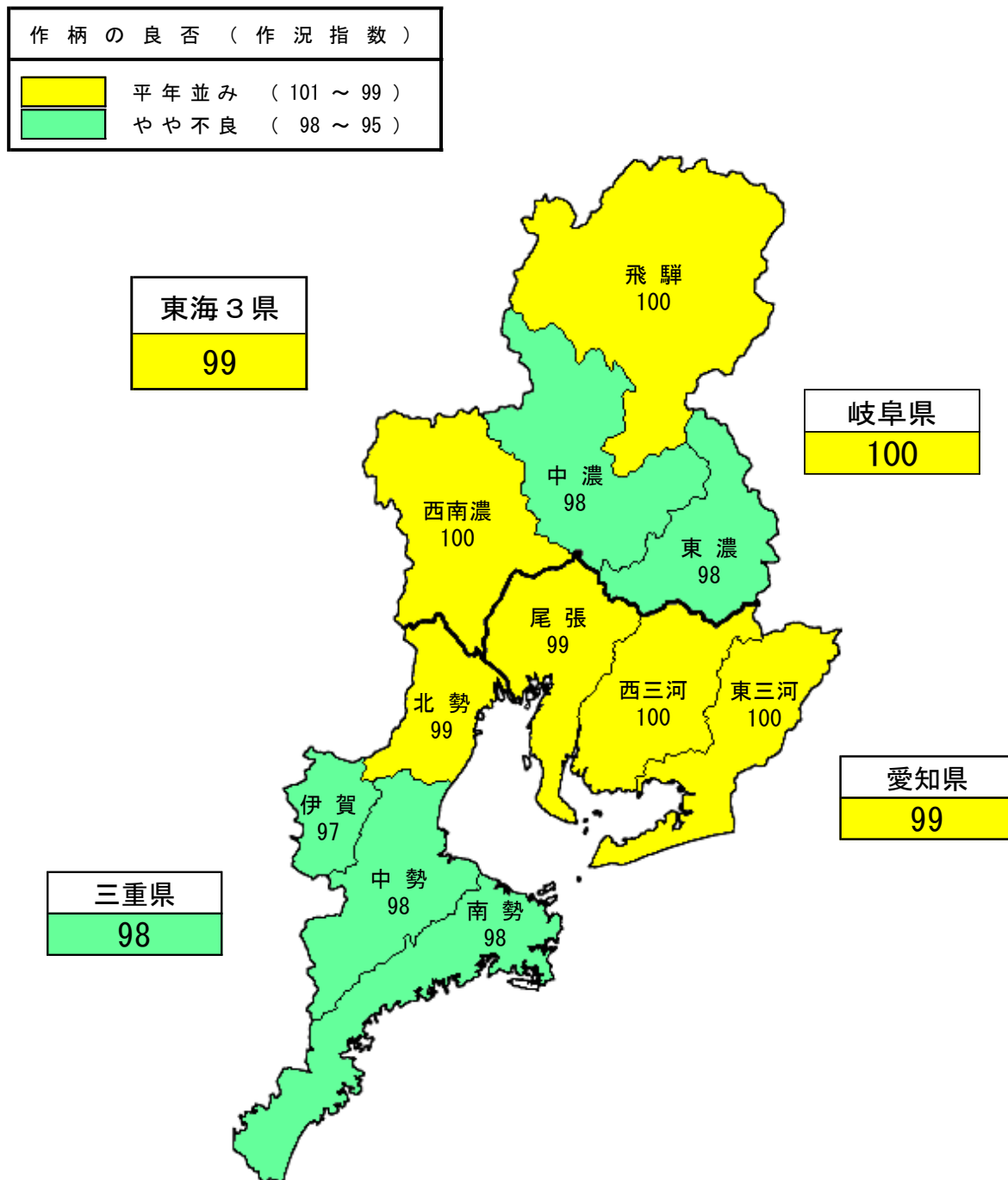
- 1 東海3県（岐阜、愛知及び三重）における令和6年産水稻の作付面積（子実用）は7万2,100ha（前年産に比べ400ha増加）となった。うち主食用作付面積は6万9,100ha（前年産に比べ200ha減少）となった。
- 2 水稻の10a 当たり収量は489kgとなった。
- 3 以上の結果、収穫量（子実用）は35万2,900t（前年産に比べ2,600t増加）となった。このうち、主食用の収穫量は33万7,800t（前年産に比べ800t減少）となった。
- 4 農家等が使用しているふりい目幅ベースの作況指数は99となった。

図1 県・作柄表示地帯別10a 当たり収量
(1.70mmのふりい目幅ベース)



- 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積であり、主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である（18ページの【参考1】参照）。
- 10a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふりい目幅で選別された玄米の重量である。
- 東海3県は東海農政局が管轄する地域（静岡県を含まない。）であり、全国農業地域における東海（静岡県を含む。）とは一致しない。

図2 県・作柄表示地帯別作況指数
(農家等が使用しているふり目幅ベース)



注： 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率であり、県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふり目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）で選別された玄米を基に算出した数値である。

◎ 累年データ

1 水稻の年次別推移

(1) 東海3県

年 産	作 付 面 積 (子実用)	10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成27年産	78,900	492	388,200	77,000	378,800	99
28	77,500	511	396,300	75,600	386,500	102
29	76,700	494	379,200	74,900	369,700	99
30	77,600	493	382,500	75,300	371,200	98
令和元	77,400	486	375,900	75,000	364,100	97
2	77,000	480	369,900	74,500	357,900	96
3	74,300	490	364,300	72,400	355,100	98
4	72,100	503	362,400	70,300	353,500	101
5	71,700	489	350,300	69,300	338,600	99
6	72,100	489	352,900	69,100	337,800	99

資料：農林水産省統計部『作物統計』（以下、（４）まで同じ。）

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である（以下、（４）まで同じ。）。

2 10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である（以下、（４）まで同じ。）。

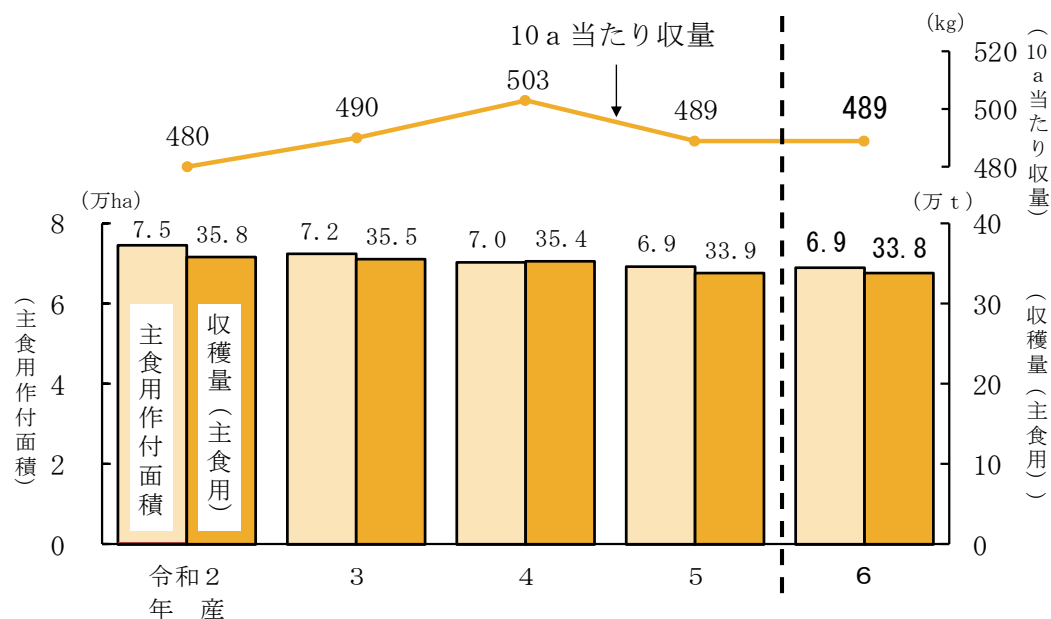
3 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である（以下、（４）まで同じ。）。

4 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率であり、以下により算出している（以下、（４）まで同じ。）。

平成27年産から令和元年産まで： 全国農業地域ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（東海は1.80mm）で選別された玄米を基に算出。

令和2年産以降： 県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）で選別された玄米を基に算出。

水稻の主食用作付面積、10 a 当たり収量及び収穫量（主食用）の推移（東海3県）



注：10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70 mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

(2) 岐阜県

年 産	作 付 面 積 (子実用)	10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成27年産	22,500	481	108,200	22,100	106,300	99
28	22,200	486	107,900	21,700	105,500	100
29	21,900	488	106,900	21,500	104,900	100
30	22,500	478	107,600	21,500	102,800	97
令和元	22,500	482	108,500	21,400	103,100	99
2	22,500	470	105,800	21,400	100,600	96
3	21,600	478	103,200	20,700	98,900	98
4	20,700	487	100,800	20,000	97,400	100
5	20,700	484	100,200	19,700	95,300	100
6	21,100	483	101,900	19,600	94,700	100

(3) 愛知県

年 産	作 付 面 積 (子実用)	10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成27年産	28,100	503	141,300	27,200	136,800	99
28	27,700	521	144,300	26,900	140,100	103
29	27,500	512	140,800	26,600	136,200	101
30	27,600	499	137,700	26,700	133,200	98
令和元	27,500	499	137,200	26,600	132,700	98
2	27,400	490	134,300	26,400	129,400	96
3	26,400	496	130,900	25,800	128,000	98
4	25,900	505	130,800	25,200	127,300	100
5	25,800	480	123,800	24,700	118,600	96
6	26,200	497	130,200	25,000	124,300	99

(4) 三重県

年 産	作 付 面 積 (子実用)	10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成27年産	28,300	490	138,700	27,700	135,700	98
28	27,600	522	144,100	27,000	140,900	105
29	27,400	480	131,500	26,800	128,600	95
30	27,500	499	137,200	27,100	135,200	100
令和元	27,300	477	130,200	26,900	128,300	95
2	27,100	479	129,800	26,700	127,900	96
3	26,300	495	130,200	25,900	128,200	99
4	25,600	511	130,800	25,200	128,800	102
5	25,200	501	126,300	24,900	124,700	101
6	24,900	485	120,800	24,500	118,800	98

2 水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a 当たり収量及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mmで選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている（19ページ【参考2】参照）。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の数値を示すと次のとおりである。

(1) ふるい目幅別重量分布状況の推移（東海3県）

単位：％

年 産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
令和元年産	100.0	0.8	1.3	2.1	2.6	12.7	80.5
2	100.0	0.9	1.4	2.0	2.4	11.0	82.3
3	100.0	0.8	1.3	1.8	2.3	11.3	82.5
4	100.0	0.9	1.3	1.6	2.3	8.2	85.7
5	100.0	0.7	1.0	1.3	1.8	6.7	88.5
6	100.0	0.7	1.2	1.6	2.1	8.7	85.7
平 均 値	100.0	0.8	1.3	1.8	2.3	10.0	83.8
対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2	△ 1.3	1.9

注：1 ふるい目幅別重量分布とは、それぞれのふるい目幅で選別された玄米の重量の割合である（以下（2）まで同じ。）。

2 平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

(2) ふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の推移（東海3県）

年 産		単 位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
令和元年産	10a当たり収量 収穫量（子実用）	kg t	486 375,900	482 372,900	476 368,000	466 360,100	453 350,300	391 302,600
2	10a当たり収量 収穫量（子実用）	kg t	480 369,900	476 366,600	469 361,400	459 354,000	448 345,100	395 304,400
3	10a当たり収量 収穫量（子実用）	kg t	490 364,300	486 361,400	480 356,700	471 350,100	460 341,700	404 300,500
4	10a当たり収量 収穫量（子実用）	kg t	503 362,400	498 359,100	492 354,400	484 348,600	472 340,300	431 310,600
5	10a当たり収量 収穫量（子実用）	kg t	489 350,300	486 347,800	481 344,300	474 339,800	466 333,500	433 310,000
6	10a当たり収量 収穫量（子実用）	kg t	489 352,900	486 350,400	480 346,200	472 340,500	462 333,100	419 302,400
	対前年比 （収穫量（子実用））	%	101	101	101	100	100	98

注：1 ふるい目幅別の10a 当たり収量とは、東海3県の10a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、東海3県の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

【調査結果】

1 東海3県

(1) 作付面積

令和6年産水稻の作付面積（子実用）は7万2,100ha（前年産に比べ400ha増加）となった。

また、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は6万9,100ha（前年産に比べ200ha減少）となった。

(2) 作柄概況

全もみ数は、東海3県ともに平年並みとなった。

登熟は、東海3県ともに平年並みとなった。

水稻の10a当たり収量は、489kg（平年に比べ△7kg）となった。

農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は、99の「平年並み」となった。

(3) 収穫量

収穫量（子実用）は35万2,900t（前年産に比べ2,600t増加）となった。このうち、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は、33万7,800t（前年産に比べ800t減少）となった。

表1 令和6年産水稻の作付面積及び収穫量

区 分	作付面積（子実用）			10 a 当たり収量			収穫量（子実用）			主食用 作付面積	収穫量 （主食用）	作況指数
	実 数 ①	前年産との比較		実 数 ②	平年 との比較		実 数 ③＝①×②	前年産との比較				
		対 差	対 比		対 差	対 差		対 差	対 比			
										④	⑤＝④×②	
	ha	ha	%	kg	kg	kg	t	t	%	ha	t	
東 海 3 県	72,100	400	101	489	△ 7	0	352,900	2,600	101	69,100	337,800	99
岐 阜 県	21,100	400	102	483	△ 2	△ 1	101,900	1,700	102	19,600	94,700	100
愛 知 県	26,200	400	102	497	△ 5	17	130,200	6,400	105	25,000	124,300	99
三 重 県	24,900	△ 300	99	485	△ 15	△ 16	120,800	△ 5,500	96	24,500	118,800	98

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。

2 10a当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 10a当たり収量の平年との比較は、10a当たり平年収量との比較である。

4 収穫量については県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

5 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

6 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）で選別された玄米を基に算出した数値である。

表2 令和6年産ふるい目幅別重量分布状況

単位：％

区 分		計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
東 海 3 県	重量割合	100.0	0.7	1.2	1.6	2.1	8.7	85.7
	平均値	100.0	0.8	1.3	1.8	2.3	10.0	83.8
	対平均差（ポイント）	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2	△ 1.3	1.9
岐 阜 県 (1.80mm)	重量割合	100.0	0.7	1.2	1.2	2.6	9.6	84.7
	平均値	100.0	0.8	1.3	1.6	2.3	10.3	83.7
	対平均差（ポイント）	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.4	0.3	△ 0.7	1.0
愛 知 県 (1.85mm)	重量割合	100.0	0.6	1.2	1.7	1.7	6.7	88.1
	平均値	100.0	0.7	1.1	1.6	2.4	10.0	84.2
	対平均差（ポイント）	0.0	△ 0.1	0.1	0.1	△ 0.7	△ 3.3	3.9
三 重 県 (1.85mm)	重量割合	100.0	0.7	1.1	1.7	2.1	10.0	84.4
	平均値	100.0	0.9	1.4	2.0	2.1	9.8	83.8
	対平均差（ポイント）	0.0	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.2	0.6

注：1 平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

2 県名の下に記載されている括弧内の数値は、県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）である（以下、表3まで同じ。）。

表3 令和6年産ふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）

区 分		単 位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
東 海 3 県	10 a 当たり収量	kg	489	486	480	472	462	419
	収穫量（子実用）	t	352,900	350,400	346,200	340,500	333,100	302,400
岐 阜 県 (1.80mm)	10 a 当たり収量	kg	483	480	474	468	455	409
	収穫量（子実用）	t	101,900	101,200	100,000	98,700	96,100	86,300
愛 知 県 (1.85mm)	10 a 当たり収量	kg	497	494	488	480	471	438
	収穫量（子実用）	t	130,200	129,400	127,900	125,600	123,400	114,700
三 重 県 (1.85mm)	10 a 当たり収量	kg	485	482	476	468	458	409
	収穫量（子実用）	t	120,800	120,000	118,600	116,600	114,000	102,000

注：1 ふるい目幅別10a 当たり収量とは、東海3県又は県別の10a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別収穫量（子実用）とは、東海3県又は県別の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

表4 令和6年産水稻における農家等が使用したふるい目幅の分布
【令和6年産水稻作況標本筆農家からの聞き取り結果】

単位：％

区 分	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
東 海 3 県	100.0	0.4	－	16.1	61.9	21.2	0.4

注： 農家等が使用したふるい目幅の分布とは、水稻作況標本筆農家を使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

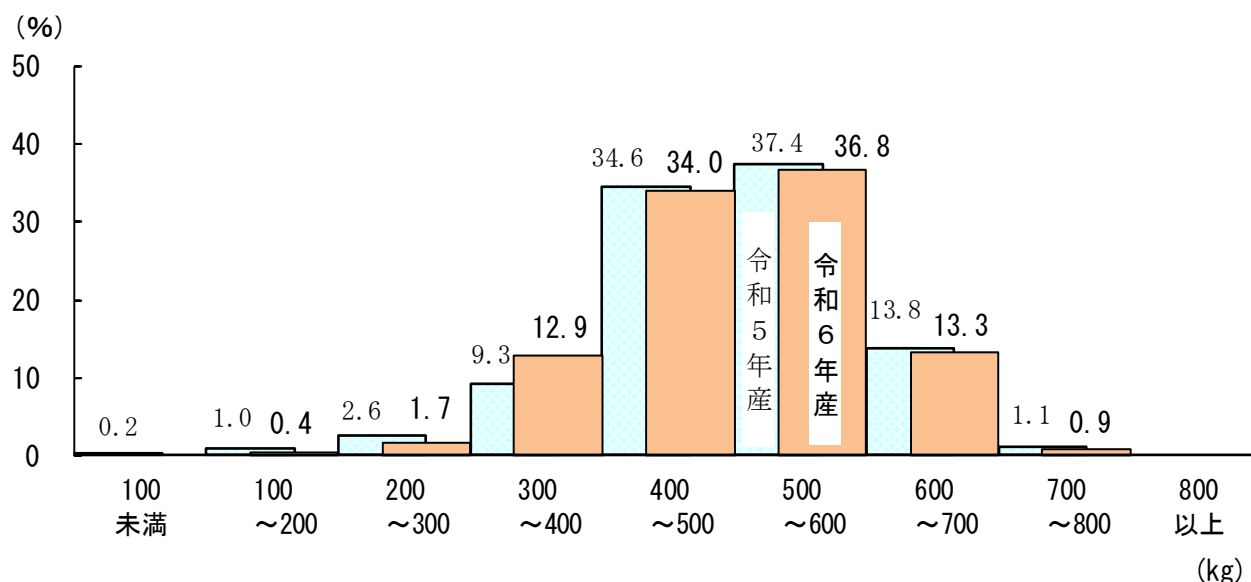
表5 令和6年産水稻の作況標本筆の10 a 当たり玄米重の分布状況（東海3県）

単位：％

区 分	計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg 以上
筆数割合	100.0	－	0.4	1.7	12.9	34.0	36.8	13.3	0.9	－
前 年 値	100.0	0.2	1.0	2.6	9.3	34.6	37.4	13.8	1.1	－
対前年差（ポイント）	0.0	△ 0.2	△ 0.6	△ 0.9	3.6	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.2	－

注：10 a 当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

図3 令和6年産水稻の作況標本筆の10 a 当たり玄米重の分布状況（東海3県）



2 岐阜県

(1) 作付面積

令和6年産水稻の作付面積（子実用）
は2万1,100ha（前年産に比べ400ha増加）
となった。

また、主食用作付面積は1万9,600ha
（前年産に比べ100ha減少）となった。

(2) 作柄概況

全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂
当たりもみ数がやや多くなったことから、
平年並みとなった。

登熟は、平年並みとなった。

水稻の10a当たり収量は483kg（平年
に比べ△2kg）となった。

作柄表示地帯別は、西南濃で471kg
（平年に比べ+2kg）、中濃で481kg
（同△9kg）、東濃で498kg（同
△12kg）、飛騨で521kg（同±0kg）と
なった。

岐阜県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.80mm）の作況指数は100の
「平年並み」となった。

作柄表示地帯別は、西南濃及び飛騨で100の「平年並み」、中濃及び東濃で98の
「やや不良」となった。

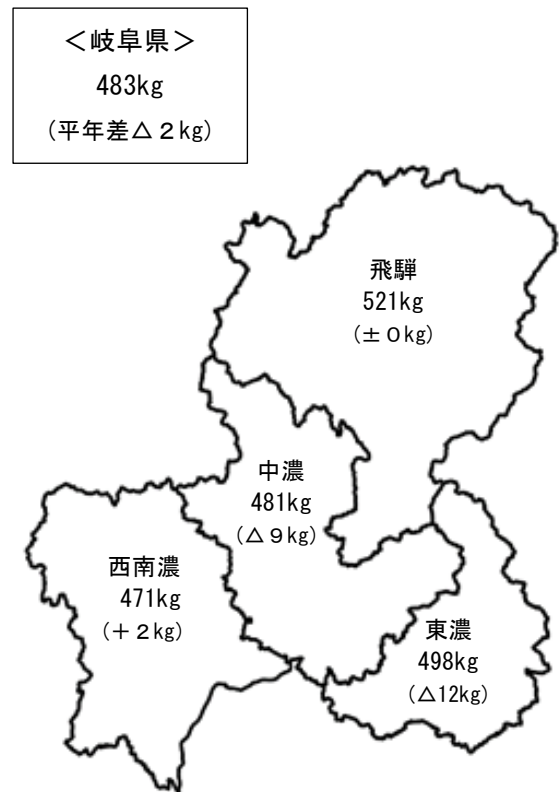
(3) 収穫量

収穫量（子実用）は10万1,900t（前年産に比べ1,700t増加）となった。このう
ち、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は、9万4,700t（前
年産に比べ600t減少）となった。

(4) ふるい目幅別重量

ふるい目幅別重量分布状況は、1.80mm以上の玄米の重量割合は98.1%と、直近5
か年平均値と比べて0.2ポイント高くなった。

図4 作柄表示地帯別10a当たり収量
（1.70mmのふるい目幅ベース）



3 愛知県

(1) 作付面積

令和6年産水稻の作付面積（子実用）
は2万6,200ha（前年産に比べ400ha増加）
となった。

また、主食用作付面積は2万5,000ha
（前年産に比べ300ha増加）となった。

(2) 作柄概況

全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂
当たりもみ数がやや多くなったことから、
平年並みとなった。

登熟は、平年並みとなった。

水稻の10a当たり収量は497kg（平年
に比べ△5kg）となった。

作柄表示地帯別は、尾張で489kg（平
年に比べ△7kg）、西三河で510kg（同
△2kg）、東三河で497kg（同±0kg）
となった。

愛知県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.85mm）の作況指数は99の
「平年並み」となった。

作柄表示地帯別は、尾張で99、西三河及び東三河で100の「平年並み」となった。

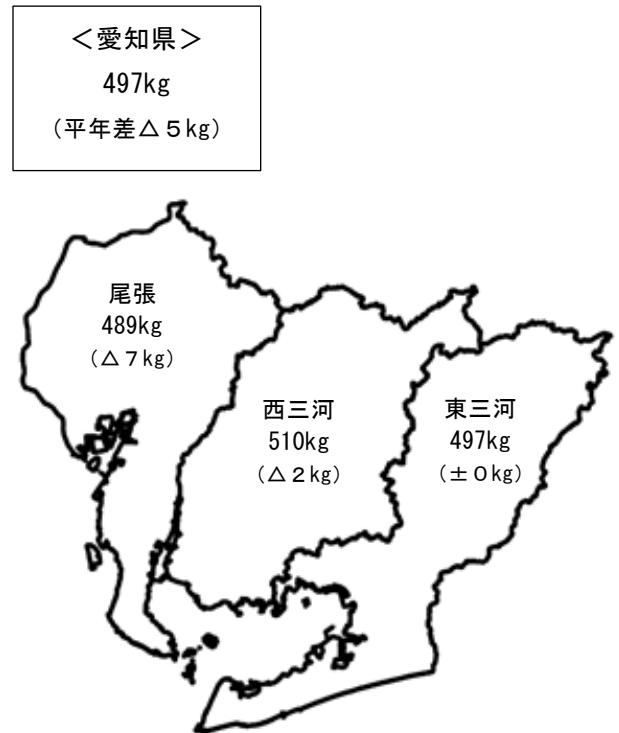
(3) 収穫量

収穫量（子実用）は13万200t（前年産に比べ6,400t増加）となった。
このうち、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は、
12万4,300t（前年産に比べ5,700t増加）となった。

(4) ふるい目幅別重量

ふるい目幅別重量分布状況は、1.85mm以上の玄米の重量割合が96.5%と、直近5
か年平均値と比べて0.1ポイント低くなった。

図5 作柄表示地帯別10a当たり収量
（1.70mmのふるい目幅ベース）



4 三重県

(1) 作付面積

令和6年産水稻の作付面積（子実用）
は2万4,900ha（前年産に比べ300ha減少）
となった。

また、主食用作付面積は2万4,500ha
（前年産に比べ400ha減少）となった。

(2) 作柄概況

全もみ数は、穂数及び1穂当たりもみ
数が平年並みとなったことから、平年並
みとなった。

登熟は、平年並みとなった。

水稻の10a当たり収量は、出穂以降の
高温の影響により、収量基準に満たない
玄米が発生したため 485kg（平年に比べ
△15kg）となった。

作柄表示地帯別は、北勢で480kg（平
年に比べ△10kg）、中勢で483kg（同△
17kg）、南勢で482kg（同△16kg）、伊
賀で504kg（同△18kg）となった。

三重県の農家等が使用しているふるい
目幅ベース（1.85mm）の作況指数は98の
「やや不良」となった。

作柄表示地帯別は、北勢で99の「平年並み」、中勢及び南勢で98、伊賀で97の
「やや不良」となった。

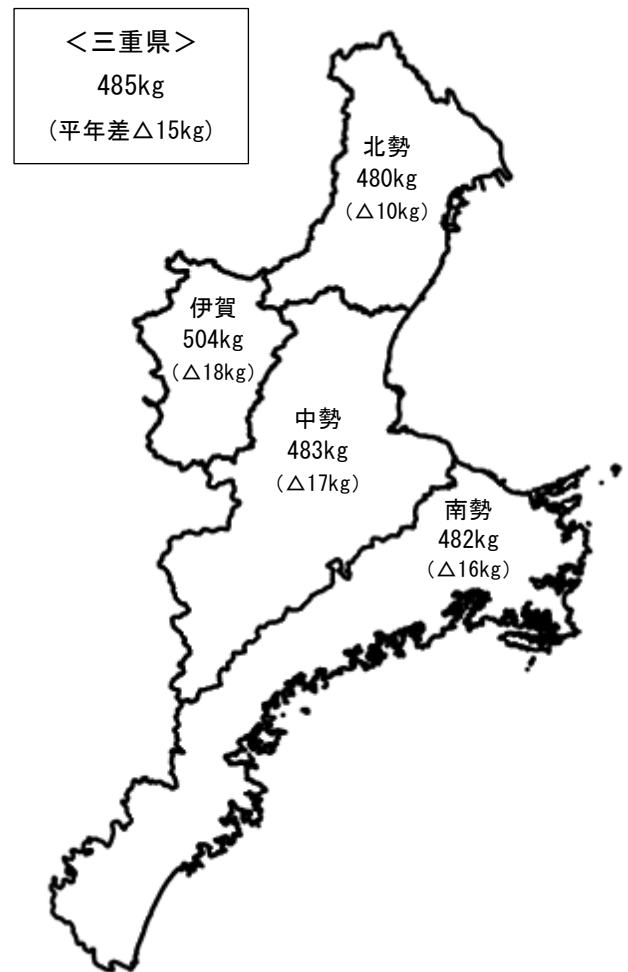
(3) 収穫量

収穫量（子実用）は12万800t（前年産に比べ5,500t減少）となった。
このうち、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は、
11万8,800t（前年産に比べ5,900t減少）となった。

(4) ふるい目幅別重量

ふるい目幅別重量分布状況は、1.85mm以上の玄米の重量割合が96.5%と、直近5
か年平均値と比べて0.8ポイント高くなった。

図6 作柄表示地帯別10a当たり収量
（1.70mmのふるい目幅ベース）



【統 計 表】

統計表一覧

ページ

1	令和6年産水稻の作付面積及び収穫量	13
2	令和6年産水稻の収量構成要素（水稻作況標本筆調査成績）	14
3	令和6年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況	15
4	令和6年産水稻玄米のふるい目幅別10a 当たり収量	16
5	令和6年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）	16
6	令和6年産水稻における農家等が使用したふるい目幅の分布	17
7	令和6年産水稻の作況標本筆の10a 当たり玄米重の分布状況	17
8	令和6年産水稻の作柄表示地帯別玄米重歩合	17

利用上の注意

- 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		6 桁 (10万)	5 桁 (1 万)	4 桁 (1, 000)	3 桁以下 (100以下)
四捨五入する桁数 (下から)		2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前 (原数)	123, 456	12, 345	1, 234	123
	四捨五入した数値 (統計数値)	123, 500	12, 300	1, 230	123

- 表中に用いた記号は次のとおりである。
 - 「0.0」：増減がないもの
 - 「－」：事実のないもの
 - 「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
 - 「△」：負数又は減少したもの
- この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和6年産水稻の収穫量」（東海農政局）による旨を記載してください。

1 令和6年産水稻の作付面積及び収穫量

区 分	作 付 面 積 （ 子 実 用 ）			10 a 当 たり 収 量 ②	農家等が使用しているふるい目幅で選別 (岐阜県1.80mm、愛知県及び三重県1.85mm)		
	実 数 ①	前年産との比較			10 a 当 たり 収 量 ③	10 a 当 たり 平 年 収 量 ④	作 況 指 数 ⑤ = ③ / ④
		対 差	対 比				
	ha	ha	%	kg	kg	kg	
東 海 3 県	72,100	400	101	489	475	479	99
岐 阜 県	21,100	400	102	483	474	475	100
西 南 濃	12,000	500	104	471	460	458	100
中 濃	3,680	△ 60	98	481	473	481	98
東 濃	2,830	△ 10	100	498	493	501	98
飛 騨	2,570	△ 20	99	521	513	511	100
愛 知 県	26,200	400	102	497	480	484	99
尾 張	12,700	300	102	489	474	480	99
西 三 河	9,040	90	101	510	490	492	100
東 三 河	4,390	△ 60	99	497	480	480	100
三 重 県	24,900	△ 300	99	485	468	478	98
北 勢	7,970	△ 50	99	480	461	466	99
中 勢	8,960	10	100	483	466	477	98
南 勢	3,640	△ 240	94	482	471	481	98
伊 賀	4,290	△ 90	98	504	485	502	97

区 分	収 穫 量（子実用）			主 食 用 作付面積 ⑦	収 穫 量 （主食用） ⑧＝⑦×②
	実 数 ⑥＝①×②	前年産との比較			
		対 差	対 比		
	t	t	%	ha	t
東 海 3 県	352,900	2,600	101	69,100	337,800
岐 阜 県	101,900	1,700	102	19,600	94,700
西 南 濃	56,500	2,200	104	…	…
中 濃	17,700	△ 600	97	…	…
東 濃	14,100	△ 300	98	…	…
飛 騨	13,400	300	102	…	…
愛 知 県	130,200	6,400	105	25,000	124,300
尾 張	62,100	3,900	107	…	…
西 三 河	46,100	2,000	105	…	…
東 三 河	21,800	100	100	…	…
三 重 県	120,800	△ 5,500	96	24,500	118,800
北 勢	38,300	△ 1,000	97	…	…
中 勢	43,300	△ 1,500	97	…	…
南 勢	17,500	△ 1,900	90	…	…
伊 賀	21,600	△ 1,400	94	…	…

- 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。
- 2 10 a 当たり収量（②）、収穫量（子実用）（⑥）及び収穫量（主食用）（⑧）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3 10 a 当たり収量（③）、10 a 当たり平年収量（④）及び作況指数（⑤）については、県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）で選別された玄米を基に算出した数値である。
- 4 収穫量については、県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
- 5 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

2 令和6年産水稻の収量構成要素（水稻作況標本筆調査成績）

区 分	1 m ² 当たり株数		1 株 当 た り 有 効 穂 数		1 m ² 当 た り 有 効 穂 数		1 穂 当 た り も み 数		1 m ² 当 た り 全 も み 数		千 も み 当 た り 収 量	
	本 年	対平 年比	本 年	対平 年比	本 年	対平 年比	本 年	対平 年比	本 年	対平 年比	本 年	対平 年比
	株	%	本	%	本	%	粒	%	100粒	%	g	%
東 海 3 県	15.8	98	22.8	101	360	98	78.3	102	282	100	17.9	99
岐 阜 県	14.7	95	23.1	103	339	97	79.1	103	268	100	18.4	100
愛 知 県	16.7	99	21.8	99	364	98	78.3	102	285	100	18.1	101
三 重 県	15.8	99	23.6	101	373	100	78.0	101	291	101	17.4	98

区 分	粒 数 歩 合		玄 米 千 粒 重		10 a 当 た り 粗 玄 米 重		玄 米 重 歩 合		10 a 当 た り 玄 米 重	
	本 年	対平 年比	本 年	対平 年比	本 年	対平 年比	本 年	対平 年比	本 年	対平 年比
	%	%	g	%	kg	%	%	%	kg	%
東 海 3 県	81.9	100	21.9	99	517	100	97.9	100	506	100
岐 阜 県	83.6	103	22.1	97	503	100	98.2	100	494	100
愛 知 県	79.6	98	22.7	102	521	100	98.8	100	515	100
三 重 県	82.5	100	21.1	98	524	99	96.6	99	506	98

注：1 対平年比とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素（1 m²当たり株数等）の平年値との対比である。

2 千もみ当たり収量、玄米千粒重及び10 a 当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 令和6年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況

区 分	ふるい目幅別重量分布状況						
	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
	%	%	%	%	%	%	%
東 海 3 県	100.0	0.7	1.2	1.6	2.1	8.7	85.7
岐 阜 県	100.0	0.7	1.2	1.2	2.6	9.6	84.7
西 南 濃	100.0	0.9	1.4	1.4	3.0	11.0	82.3
中 濃	100.0	0.6	1.0	1.2	2.6	9.3	85.3
東 濃	100.0	0.4	0.7	0.8	1.9	6.3	89.9
飛 騨	100.0	0.6	0.9	0.8	2.0	7.9	87.8
愛 知 県	100.0	0.6	1.2	1.7	1.7	6.7	88.1
尾 張	100.0	0.5	0.9	1.7	1.8	6.6	88.5
西 三 河	100.0	0.7	1.5	1.8	1.7	7.2	87.1
東 三 河	100.0	0.4	1.3	1.7	1.3	5.9	89.4
三 重 県	100.0	0.7	1.1	1.7	2.1	10.0	84.4
北 勢	100.0	0.8	1.3	1.9	1.9	9.3	84.8
中 勢	100.0	0.7	1.1	1.7	2.3	12.2	82.0
南 勢	100.0	0.5	0.7	1.1	1.6	7.8	88.3
伊 賀	100.0	0.9	1.2	1.6	2.3	8.6	85.4

区 分	対平均差						
	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント
東 海 3 県	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2	△ 1.3	1.9
岐 阜 県	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.4	0.3	△ 0.7	1.0
西 南 濃	0.0	0.0	0.0	△ 0.4	0.4	△ 0.5	0.5
中 濃	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	0.8	0.6	△ 1.0
東 濃	0.0	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.4	0.4	△ 1.2	1.7
飛 騨	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 1.0	△ 0.4	△ 2.7	4.4
愛 知 県	0.0	△ 0.1	0.1	0.1	△ 0.7	△ 3.3	3.9
尾 張	0.0	△ 0.1	△ 0.2	0.2	△ 0.5	△ 2.5	3.1
西 三 河	0.0	0.0	0.2	0.0	△ 0.8	△ 2.9	3.5
東 三 河	0.0	△ 0.3	0.2	0.1	△ 1.4	△ 6.5	7.9
三 重 県	0.0	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.2	0.6
北 勢	0.0	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 1.1	2.4
中 勢	0.0	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.4	0.0	1.6	△ 0.5
南 勢	0.0	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.4	0.1	△ 0.1	1.0
伊 賀	0.0	0.2	0.0	△ 0.2	0.4	0.1	△ 0.5

- 注：1 ふるい目幅別重量分布とは、それぞれのふるい目幅で選別された玄米の重量の割合である。
2 対平均差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値である。

4 令和6年産水稻玄米のふるい目幅別10a 当たり収量

単位：kg

区 分	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
東 海 3 県	489	486	480	472	462	419
岐 阜 県	483	480	474	468	455	409
西 南 濃	471	467	460	454	439	388
中 濃	481	478	473	468	455	410
東 濃	498	496	493	489	479	448
飛 騨	521	518	513	509	499	457
愛 知 県	497	494	488	480	471	438
尾 張	489	487	482	474	465	433
西 三 河	510	506	499	490	481	444
東 三 河	497	495	489	480	474	444
三 重 県	485	482	476	468	458	409
北 勢	480	476	470	461	452	407
中 勢	483	480	474	466	455	396
南 勢	482	480	476	471	463	426
伊 賀	504	499	493	485	474	430

注： ふるい目幅別10a 当たり収量とは、県及び作柄表示地帯別の10a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

5 令和6年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）

単位：t

区 分	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
東 海 3 県	352,900	350,400	346,200	340,500	333,100	302,400
岐 阜 県	101,900	101,200	100,000	98,700	96,100	86,300
西 南 濃	56,500	56,000	55,200	54,400	52,700	46,500
中 濃	17,700	17,600	17,400	17,200	16,700	15,100
東 濃	14,100	14,000	13,900	13,800	13,600	12,700
飛 騨	13,400	13,300	13,200	13,100	12,800	11,800
愛 知 県	130,200	129,400	127,900	125,600	123,400	114,700
尾 張	62,100	61,800	61,200	60,200	59,100	55,000
西 三 河	46,100	45,800	45,100	44,300	43,500	40,200
東 三 河	21,800	21,700	21,400	21,100	20,800	19,500
三 重 県	120,800	120,000	118,600	116,600	114,000	102,000
北 勢	38,300	38,000	37,500	36,800	36,000	32,500
中 勢	43,300	43,000	42,500	41,800	40,800	35,500
南 勢	17,500	17,400	17,300	17,100	16,800	15,500
伊 賀	21,600	21,400	21,100	20,800	20,300	18,400

注： ふるい目幅別収穫量（子実用）とは、県及び作柄表示地帯別の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

6 令和6年産水稻における農家等が使用したふるい目幅の分布

【令和6年産水稻作況標本筆農家からの聞き取り結果】

単位：％

区 分	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
東 海 3 県	100.0	0.4	－	16.1	61.9	21.2	0.4
岐 阜 県	100.0	1.4	－	39.9	53.2	4.1	1.4
愛 知 県	100.0	－	－	1.7	41.1	57.2	－
三 重 県	100.0	－	－	11.0	86.5	2.5	－

注： 農家等が使用したふるい目幅の分布とは、水稻作況標本筆農家を使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

7 令和6年産水稻の作況標本筆の10a 当たり玄米重の分布状況

単位：％

区 分	計	100kg 未 満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg 以 上
東 海 3 県	100.0	－	0.4	1.7	12.9	34.0	36.8	13.3	0.9	－
岐 阜 県	100.0	－	－	0.6	13.0	40.9	32.5	13.0	－	－
愛 知 県	100.0	－	－	2.9	12.1	27.6	41.9	15.5	－	－
三 重 県	100.0	－	1.0	1.5	13.6	34.2	35.6	11.6	2.5	－

注：10a 当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

8 令和6年産水稻の作柄表示地帯別玄米重歩合

単位：％

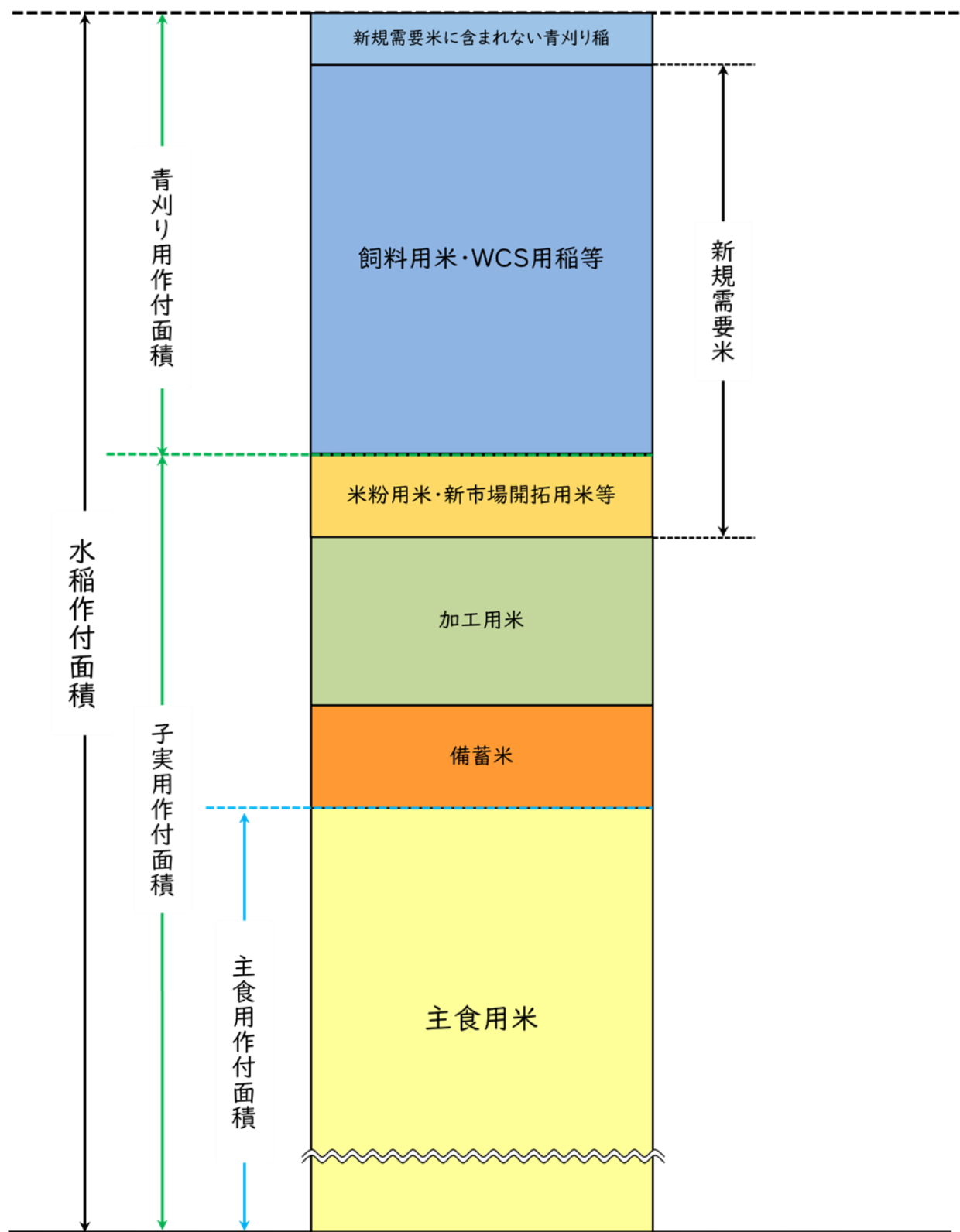
区 分	玄米重 歩 合	区 分	玄米重 歩 合	区 分	玄米重 歩 合
岐 阜 県	98.2	愛 知 県	98.8	三 重 県	96.6
西 南 濃	98.0	尾 張	98.8	北 勢	95.1
中 濃	98.4	西 三 河	98.5	中 勢	96.9
東 濃	98.8	東 三 河	99.1	南 勢	98.2
飛 騨	98.9			伊 賀	97.4

注：1 作況標本筆のデータにより取りまとめたものである。

2 1.70mmのふるい目幅で選別された10a 当たり玄米重及び粗玄米重より推計したものである。

【参考 1】

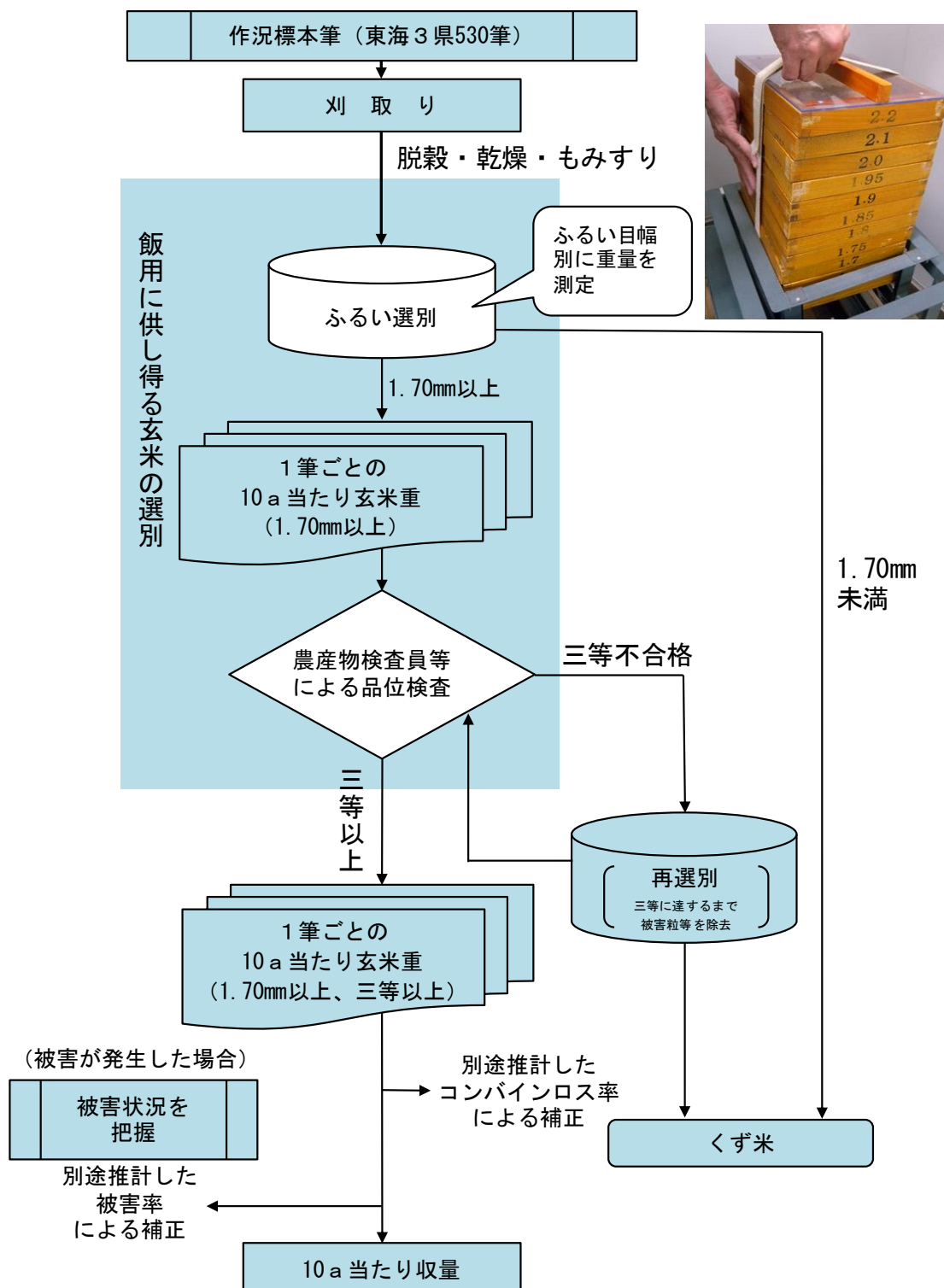
水稻作付面積の概念図



【参考 2】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考 3】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mmで選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



【参考 3】

作況標本筆^{ふで}とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆（ふで）と呼ぶ。）は、各県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（東海3県で530筆）調査している。

全国の全ての土地
（母集団）



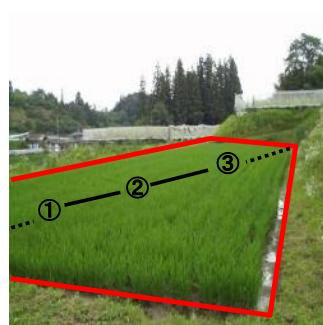
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
（200m四方の土地）



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
（東海3県で530筆）



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【調査の概要】

・面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

・作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

○ 調査対象数

・作付面積調査

標本単位区数：2,535単位区

・収穫量調査

作況標本筆：530筆

○ 作柄表示地帯

東海3県の各作柄表示地帯の包括範囲は、下表のとおり。

区分	地帯名	包 括 市 町 村
岐阜県	西南濃	岐阜市、大垣市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、海津市、岐南町、笠松町、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町
	中 濃	関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町
	東 濃	多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市
	飛 騨	高山市、飛騨市、下呂市、白川村
愛知県	尾 張	名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町
	西三河	岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町
	東三河	豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村
三重県	北 勢	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曽岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
	中 勢	津市、松阪市、多気町、明和町、大台町
	南 勢	伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
	伊 賀	名張市、伊賀市

【水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めるところとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【Webサイト掲載案内】

- ・ この統計調査結果は、東海農政局Webサイトの「農林水産統計」で御覧いただけます。
<https://www.maff.go.jp/tokai/tokei/kohyo/schedule/index.html>
- ・ 全国値の詳細は、分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y5

- ・ 確定した詳細な数値は、Webサイトに掲載（令和7年2月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、Webサイトでお知らせします。

【関連リンク】

- ・ 農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局
<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>
- ・ 病害虫に関する情報：農林水産省＞組織別から探す＞消費・安全局＞病害虫の防除に関する情報
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/>

※ 上記リンクでは、病害虫の防除に関する情報として、総合防除の推進や発生予察事業による病害虫の発生予測等について掲載しています。

なお、「植物防疫年報」として公開している病害虫の発生面積は病害虫の発生予測の参考として調査を行っているもので、農作物の作付面積、収量等の調査を行っている作物統計調査とは調査目的や調査方法等が異なります。

- ・ 気象庁
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

お問合せ先

◎本統計調査結果について
東海農政局 統計部 生産流通消費統計課
電話：052-763-4732

◎農林水産統計全般について
東海農政局 統計部 統計企画課
電話：052-763-4730



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>

5年に1度の一斉調査

2025年農林業センサス（令和7年2月1日現在）を実施します。

調査期間

令和6年12月中旬～令和7年2月末

令和7年1月中旬～令和7年2月末

令和7年10月上旬～令和7年12月末

農林業経営体調査

農山村地域調査（市区町村調査）

農山村地域調査（農業集落調査）

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いいたします。

また、調査票はオンラインによる回答も可能です。



農林業センサス

農林業センサス 2025

